

令和2年度 第4回 運営推進会議開催報告

会議名 大野和光園和らぎの里運営推進会議
施設名 指定地域密着型介護老人福祉施設 大野和光園和らぎの里
サービスの種類 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
会議開催場所 指定地域密着型介護老人福祉施設 大野和光園和らぎの里 地域交流スペース
開催日時 令和2年11月25日(水) 13:30～14:30

<運営推進会議出席者>

利用者の家族 (2名)
地域住民の代表者(春日三丁目上区区長)
地域住民の代表者(大野地区民生児童委員)
大野市市民福祉部 健康長寿課 課長補佐

<施設職員出席者>

和らぎの里施設長
機能訓練指導員(課長・会議録作成)
介護相談員(課長補佐)
介護員(課長補佐)

<議事録>

1. 和らぎの里 施設長挨拶

2. 活動報告について

- ・ 入居者、短期利用者状況
 - ・ 医療状況
 - ・ 行事活動状況
 - ・ ボランティア受け入れ状況
 - ・ その他の報告
 - ☆事故報告について詳細説明
- | | |
|-------|-----|
| 物損 | 2 件 |
| 転倒、転落 | 6 件 |
| 皮膚剥離 | 1 件 |
| 服薬忘れ | 1 件 |
- ・ 施設外、施設内研修参加状況

3. 活動報告への質問や意見、その他意見交換

☆Q 入院された方は皆、治って退院したのか。

A 治療を受けて安定した状態で退院されるが、入退院を繰り返すこともある。
また、入院されても状態回復されず、看取りとなって退院される方もいる。

☆Q 誕生会にはどんなものをプレゼントするのか。また、どんな反応があるのか。

A お話しのできる利用者様には希望のものを伺ったり、相談して決めている。
困難な方には担当の職員が選んで購入しているが、洋服が多い。
きちんと向き合って、言葉をかけることで、とても嬉しそうにされる。

☆Q 研修の主催の社会福祉協議会とは福井県にあるのか。

A 県にあり、他には老人福祉施設協議会が主催する研修もあり、施設全体の70%が参加している。
現在、研修のほとんどがリモートとなっているが、講義を聞くだけなら十分である。
最近ではグループ分けをして討議をするなど、やり方も進化しているため、出向かなくても充分である。

しかし、気軽に他の施設の状況を聞くことができないため、本音を発見することはできない。

☆Q コロナ感染対策の面会はどうしているのか。

A 県外からの面会は以前から中止している。福井県内の感染者が発生した地域からは往来した方も含めて中止とさせてもらっている。福井県が感染拡大地域に入ってから、ガラス越しの面会も中止している。大野市在住の面会は受け付けているが、大野市に陽性者が出た時は中止となると思われる。

職員は、感染拡大地域への外出を禁止としている。その他の県外を往来する前には上司に報告している。出勤日以外も毎日検温をし、市外へ外出した記録も付けている。

今後、当園で陽性者が出た時にはすぐに公表し、ホームページには毎日状況をアップしていく。

特に多床室の対策が重要となるが、陽性者や濃厚接触者が出たときの対応策は常に検討している。

・大野市民生環境部 健康長寿課 清水様より

まだコロナウイルスワクチンは正式に完成していないが、日本は来春からワクチン接種を受けられる予定で進められている。大野市では来年にワクチン接種を受けられるよう進めている段階である。

次回開催予定： 令和3年1月27日（水） 13:30～